

関西3空港一体運営に向けた神戸市の取り組み



神戸市みなと総局 空港事業担当局長 香川 賢次

神戸空港の概要

- 開港日 平成18年2月16日
- 設置管理者 神戸市
- 運用時間 7時～22時（15時間）
- アクセス 三宮から約8km
（ポートライナーで約18分）
- 滑走路 2,500m×1本
- 全体面積 約272ha
（告示面積約154ha）
- 駐車場 収容台数：1,250台
搭乗者割引料金：
24時間まで無料
24時間超150円／時間
以降、24時間毎の上限1,000円



都心に近接した良好なアクセス



三宮から約8km, ホムトライナ-で約18分
日本の空港では屈指の好アクセス
空港利用者の6割強がホムトライナ-を利用



就航路線ネットワーク

全国8都市へ、30往復便が就航!!
札幌（新千歳）・茨城・仙台・東京（羽田）
米子・長崎・鹿児島・沖縄（那覇）



新千歳(5往復)

所要時間 約2時間

札幌(新千歳)

仙台(2往復)

所要時間 約85分



仙台

茨城(2往復)

所要時間 約75分



東京(羽田)

羽田(10往復)

所要時間 約70分

茨城

東京

神戸

米子

米子(1往復)

所要時間 約40分

長崎

長崎

長崎(4往復)

所要時間 約60分

鹿児島

鹿児島(1往復)

所要時間 約65分

鹿児島

沖縄(那覇)

乗継

乗継

石垣

宮古

那覇(5往復)

神戸~那覇
所要時間 約2時間

那覇~宮古
所要時間 約50分

那覇~石垣
所要時間 約50分

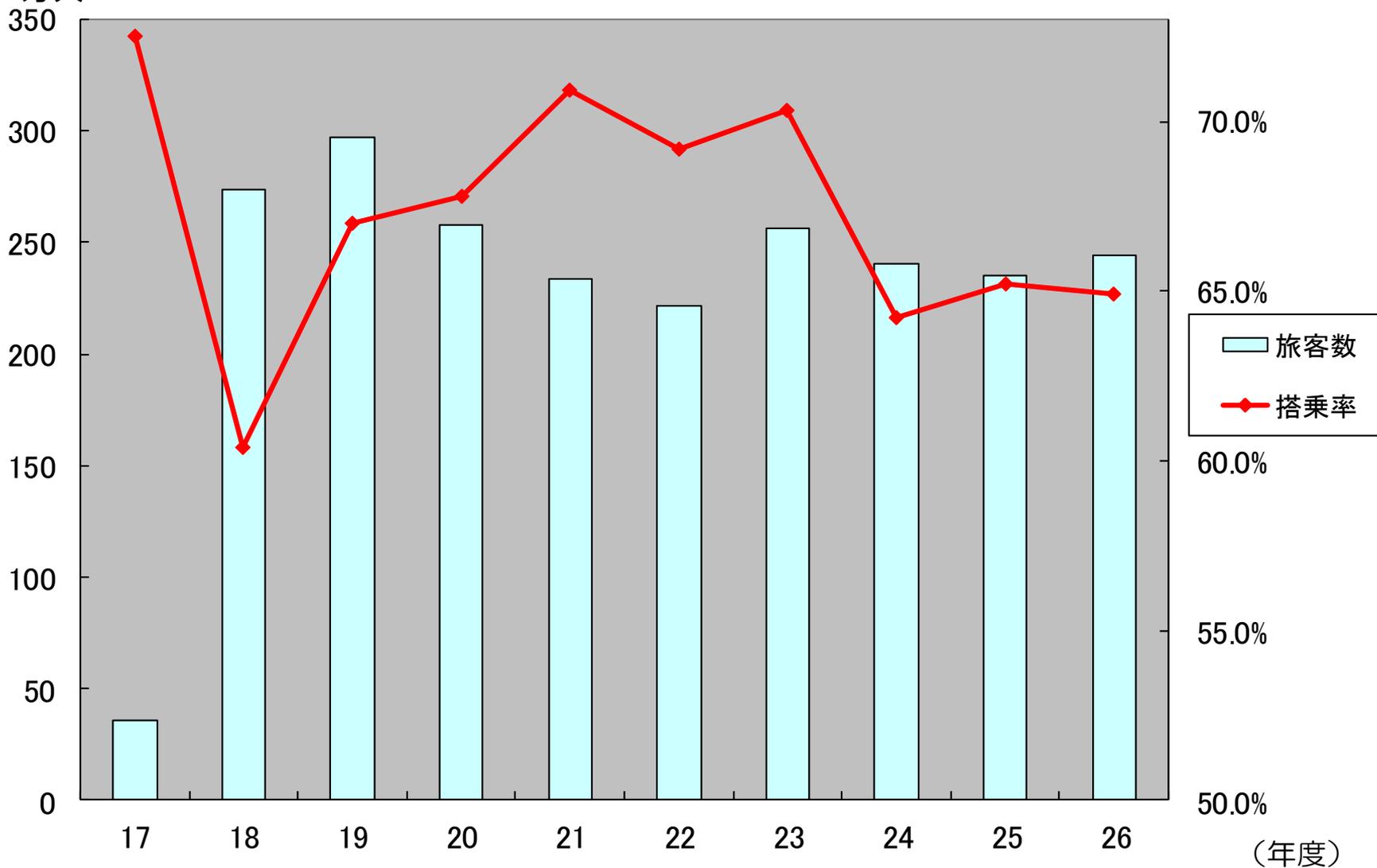
沖縄

(単位：便/日)

	3月29日 ~ 8月31日	9月1日 ~ 10月24日
札幌	5	5
仙台	2	2
茨城	2	2
羽田	10	10
米子	1	△1 0
長崎	4	4
鹿児島	1	1
沖縄	5	+1 6
合計	30	±0 30

旅客数・搭乗率の推移

万人 ◎開港以来、累計2,300万人を超える旅客数



全国の空港旅客数ランキング（国内線）

◎神戸空港の旅客数は全国97空港中、15位！
 地方自治体が管理する65空港の中では1位！

(2014年度)
 (単位：千人)

順位	空港	旅客数
1	羽田	62,661
2	札幌(新千歳)	17,829
3	福岡	16,332
4	那覇	15,897
5	伊丹	14,621
6	関西国際	6,525
7	成田国際	6,003
8	中部国際	5,399
9	鹿児島	5,041
10	仙台	3,062
11	熊本	3,055
12	長崎	2,932
13	松山	2,804
14	宮崎	2,781
15	神戸(*)	2,446

順位	空港	旅客数
16	広島	2,438
17	石垣(*)	2,302
18	小松	2,126
19	大分	1,734
20	高松	1,634
21	函館	1,546
22	高知	1,335
23	宮古(*)	1,321
24	北九州	1,252
25	秋田(*)	1,199
26	岡山(*)	1,197
27	徳島	1,014
28	旭川(*)	950
29	青森(*)	901
30	富山(*)	885

*は地方管理空港

(出典：平成26年度 空港の利用状況概況集計表(速報値))

神戸空港の収支状況について

着陸料等の収入から維持管理(人件費・維持管理)を差し引いた ランニング収支は開港以来黒字

(単位：百万円)

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
着陸料等収入 ①	1,028	957	792	747	662	819	832	792
着陸料	899	899	738	675	606	732	736	698
停留料	10	12	9	10	8	8	9	8
その他	119	46	45	62	48	79	87	86
交付税・補助金等 ②	465	583	658	765	864	873	1,025	1,130
収入合計 ③ (①+②)	1,493	1,540	1,450	1,512	1,526	1,692	1,857	1,922

管理経費等 ④	727	754	694	655	595	616	624	638
管理経費等	727	754	650	630	573	595	600	606
消費税	0	0	44	25	22	21	24	32
市債償還 ⑤	288	501	732	1,072	1,369	1,567	1,759	1,861
支出合計 ⑥ (④+⑤)	1,015	1,255	1,426	1,727	1,964	2,183	2,383	2,499

ランニング収支 ①-④	301	203	98	92	67	203	208	154
-------------	-----	-----	----	----	----	-----	-----	-----

(空港着陸料等から維持管理費を除く)

基金・他会計借入金等 ⑦	0	14	149	215	438	491	526	577
--------------	---	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

管理収支 ③-⑥+⑦	478	299	173	0	0	0	0	0
------------	-----	-----	-----	---	---	---	---	---

関西3空港の在り方について（関西3空港懇談会（国・関係自治体等））

（平成17年11月）

神戸空港は150万都市神戸及びその周辺の国内航空需要に対応する地方空港。運用時間は15時間。3空港間の役割分担を踏まえつつ、安全かつ円滑な航空機の運航の観点から、1日の発着回数は60回、年間の発着回数は2万回程度が上限となる。

（平成22年4月）

一元管理により関西3空港を戦略的に広域に最適活用

既存インフラの有効活用により関西3空港の航空需要の拡大と利便性の向上を図るための中期戦略として、関西空港、伊丹空港、神戸空港それぞれの強みを生かした最適活用を一元管理の中で実現すべきである。

さらなる利便性向上に向けて

★運用時間の延長



利用者本位の視点に立ち、
使いやすい柔軟なダイヤ設定を！

★発着枠の拡大

現状 30往復便(60回発着)／日が上限(2万回程度／年)

航空利用者の利便性向上のため、
発着枠の拡大を要望

関西3空港



神戸空港に関する記述

関空・伊丹の任意事業として

「運営権者は、神戸空港の管理者が神戸空港の運営を他者に行わせようとする場合には、運営権者の下で同空港を一元的に運営することにより、関西国際空港の国際拠点空港としての再生・強化及び関西全体の航空輸送需要の拡大を図る目的から、神戸空港の管理者と交渉を行うことができる」

関空・伊丹の今後のスケジュール

平成27年2月16日：参加意思表明の提出期限

～：競争的対話

同年5月22日：第一次審査書類提出期限

同年9月18日：第二次審査書類提出期限

平成27年11月頃：優先交渉権者の決定

平成27年12月頃：実施契約の締結

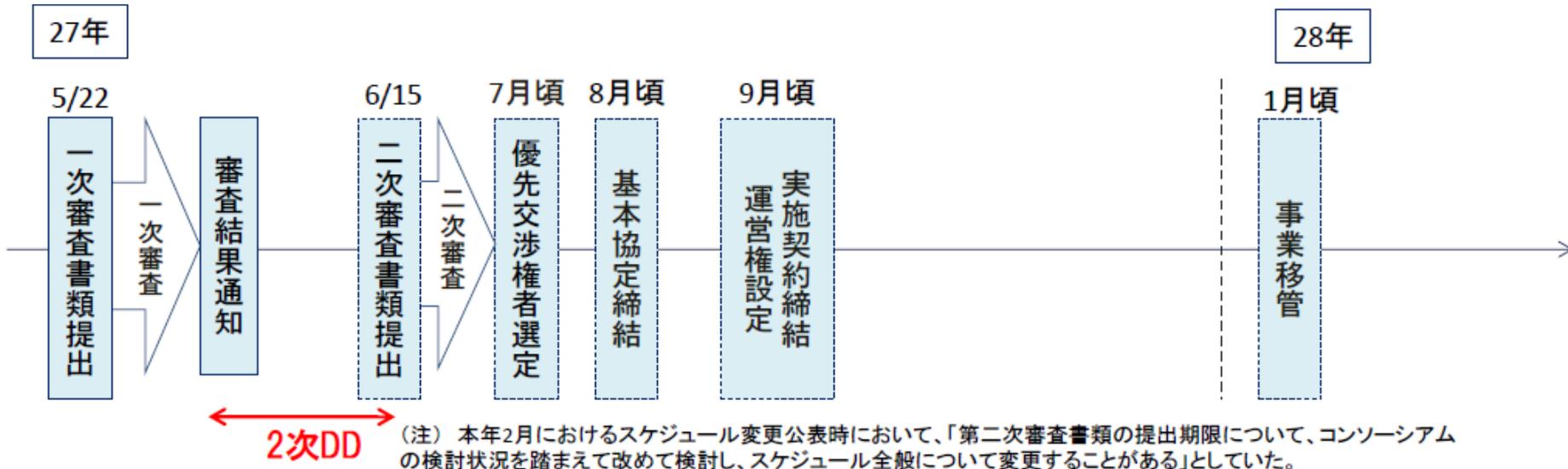
平成28年3月末：事業移管

第一次審査通過企業

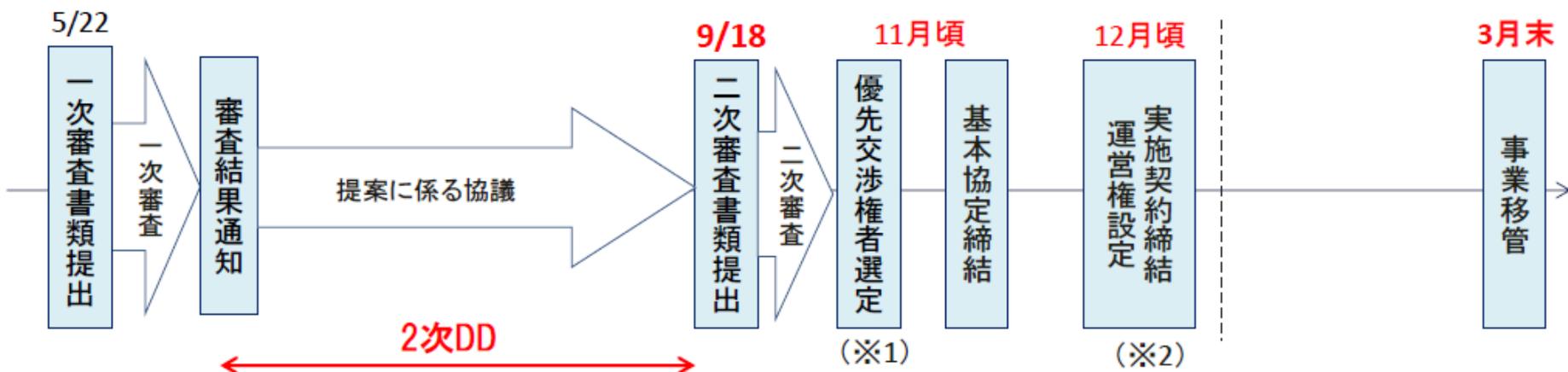
オリックス(株)、ヴァンシ・エアポート

関空・伊丹のコンセッションスケジュール

変更前スケジュール



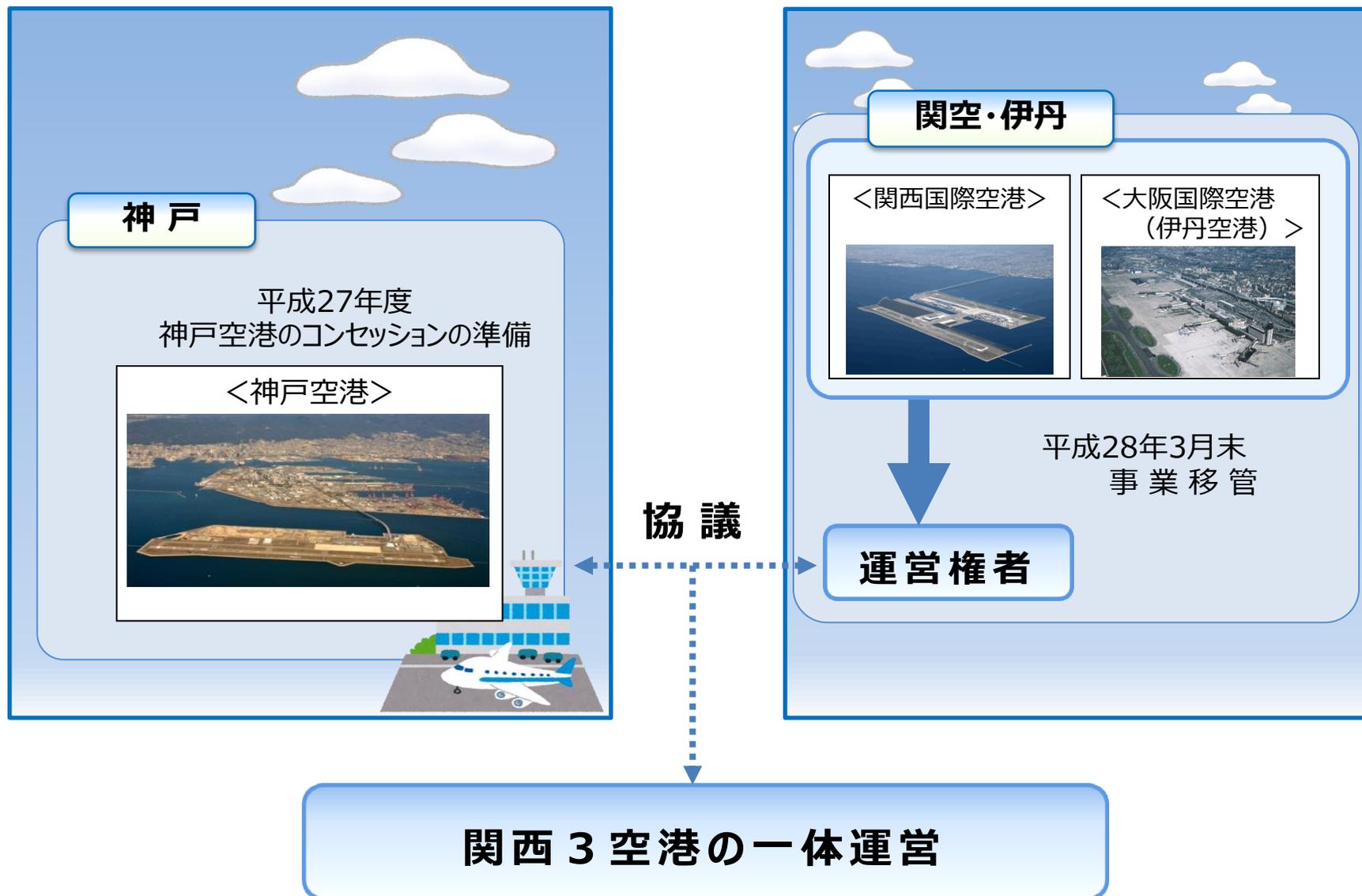
現行スケジュール



※新関西国際空港株式会社HPHより抜粋

(※1) 優先交渉権者選定後速やかに、優先交渉権者の名称及び第二次審査結果の結果概要を適宜の方法により公表する。

(※2) 審査結果及びPFI法第22条第2項に定める実施契約の内容については、適宜の方法により公表する。



“神戸空港コンセッションの準備”



神戸空港条例の改正（平成27年4月1日施行）

「神戸空港の運営等について、選定事業者（民間事業者）に公共施設等運営権を設定することができる。」の規定を追加

神戸空港コンセッションの準備（平成27年度予算2億円計上）

**関空・伊丹の運営権者が決まり次第、
協議できるよう慎重かつ着実に準備を進める。**

- ・空港施設等の更新計画の作成
- ・空港事業及びターミナル事業に関するデューデリジェンス
- ・事業範囲、事業スキームの検討
- ・財務シミュレーション
- ・空港施設の拡充、周辺用地の活用方策の検討
- ・PFI法に基づく実施方針、公共施設等運営権実施契約等の作成

関空・伊丹のコンセッション関係

- H27.5.1 オリックスとフランスの空港運営会社「バンシ・エアポート」（フランス・ポルトガルで20を越える空港運営の実績）と連合を組み、入札に参加することで基本合意
- H27.6.12 新関西国際空港株が、関空・伊丹のコンセッションの1次入札をオリックス、ヴァンシ・エアポートコンソーシアムが通過したと発表。
ヴァンシ・エアポートは、仏建設大手ヴァンシの子会社で、ポルトガルのリスボン空港、カンボジアのシエムレアプ空港など3か国24空港の運営実績がある。

スカイマーク関係

- H27.4.24 国土交通省に10月25日から仙台空港からの路線廃止を届出
（仙台―神戸便 1日2往復運航(10月24日まで)）
※ 2往復の発着枠については、他路線に振り向け神戸便21便を維持する意向
- H27.5.26 スカイマークの会長にインテグラル佐山代表取締役の就任で最終調整
（出資比率:インテグラル50.1%・ANA16.5%・日本政策投資銀行と三井住友銀行がファンド経由で33.4%）
- H27.6.15 最大債権者である米リース会社、イントレピッド・アビエーションは東京地裁にスカイマーク再生計画の修正案を提出し、東京地裁は、ANAホールディングスによる支援を盛り込んだスカイマーク案との両案ともに債権者集会に付議することを決定。
- H27.8.5 東京地裁にて、債権者集会を開催

開港10周年に向けて

日程	事業内容
平成27年4月21日～	Kawasaki ニューモデル Ninja H2 展示
4月26日	ホンダジェット ワールドツアー in神戸 (ホンダジェットのデモンストレーション) (ヒラタ学園)
7月4日・5日	全日本モトクロス選手権in神戸空港 (主催: サンテレビジョン)
7月9日	関西全体の航空需要拡大について考えるセミナー (神戸国際会館)
7月17日～	FDAチャーター便の就航 (神戸→中標津、稚内、青森 (計7回)) (丘珠→神戸 (計5回))
7月24日	神戸空港利用推進協議会総会 & 開港10周年記念講演
8月6日	神戸空港の利活用促進セミナー (パレスホテル東京)
秋～冬	神戸空港体験ツアー、ベイシャトルとの連携ツアー 空の日イベントなど
平成28年1月頃	搭乗者2,500万人達成
平成28年2月16日	開港10周年イベント & 記念式典

空港開港による企業進出

- 神戸学院大学 (14.4ha)
2007年4月開校
- 兵庫医療大学・神戸夙川学院
大学 (7.6ha) 2007年4月開校
- 上組 物流倉庫 (3.4ha)
2005年8月操業開始
- USSカーオクシオン (6.6ha)
2005年9月操業開始
- ニトリ (5.2ha)
2004年10月操業開始
- ヤマー物流サービス (2.1ha)
2008年4月操業開始
- ポートアイランド1期・2期
- BMWジャパン (0.15ha)
2007年1月操業開始
- バンドー化学 (1.5ha)
2007年10月操業開始
- ペーリガン・インケルハイム (0.7ha)
2008年11月操業開始
- アスピオファーマ (1.0ha)
2010年10月操業開始
- 甲南大学 (1.0ha)
2009年4月開校
- ワールドフライタル神戸 (1.3ha)
2008年11月操業開始
- 学校法人ヒラタ学園 (1.8ha)
2009年7月操業開始
- エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン (1.4ha)
2012年4月操業開始
- レンタカー3社 (0.3ha)
2006年2月操業開始
- カツヤマキカイ (1.8ha)
2013年9月操業開始
- 上組 (1.6ha)
2009年12月操業開始



神戸市立中央市民病院移転

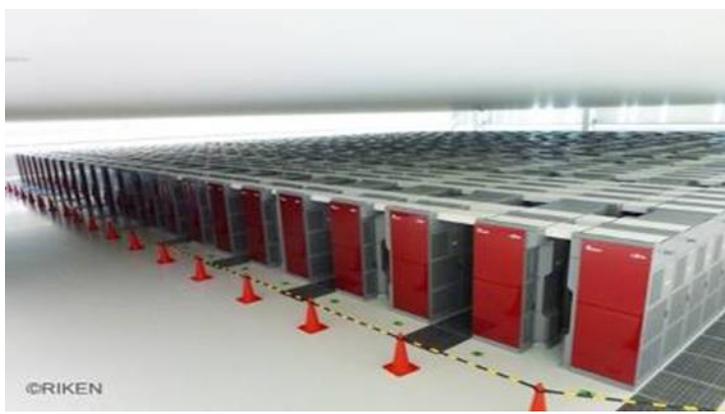
国際コンテナ戦略港湾

医療産業関連
施設集積

神戸空港島

神戸医療産業都市
ポートアイランド(第2期)を中心に、高度医療技術の研究・開発拠点を整備し、医療関連産業の集積を図ることで、より健やかで活力ある神戸にしていくためのプロジェクト

京速コンピュータ「京」
2012年9月本格稼働開始



国際コンテナ戦略港湾
国土交通省は、アジアのハブ(拠点)港湾を目指し、特に重点整備する「国際コンテナ戦略港湾」として、京浜港、阪神港の2港湾を選定した。

空港島への進出企業



スカイマーク格納庫
(2012年1月供用開始)
敷地面積：約4,800㎡
間口 62m 奥行き 60m
B737-800 1機格納可能

ヒラタ学園



ドクターヘリ運航
和歌山県ドクターヘリ
長崎県ドクターヘリ
大阪府ドクターヘリ
沖縄県ドクターヘリ
豊岡ドクターヘリ
福岡和白病院
(ホワイトバード)
徳島県ドクターヘリ
兵庫県ドクターヘリ
京滋ドクターヘリ

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン
・民間・官公庁市場世界No.1のヘリコプターメーカー、エアバス・ヘリコプターズの日本支社
・日本の民間・官公庁向けタービンヘリコプターの約55%のシェア



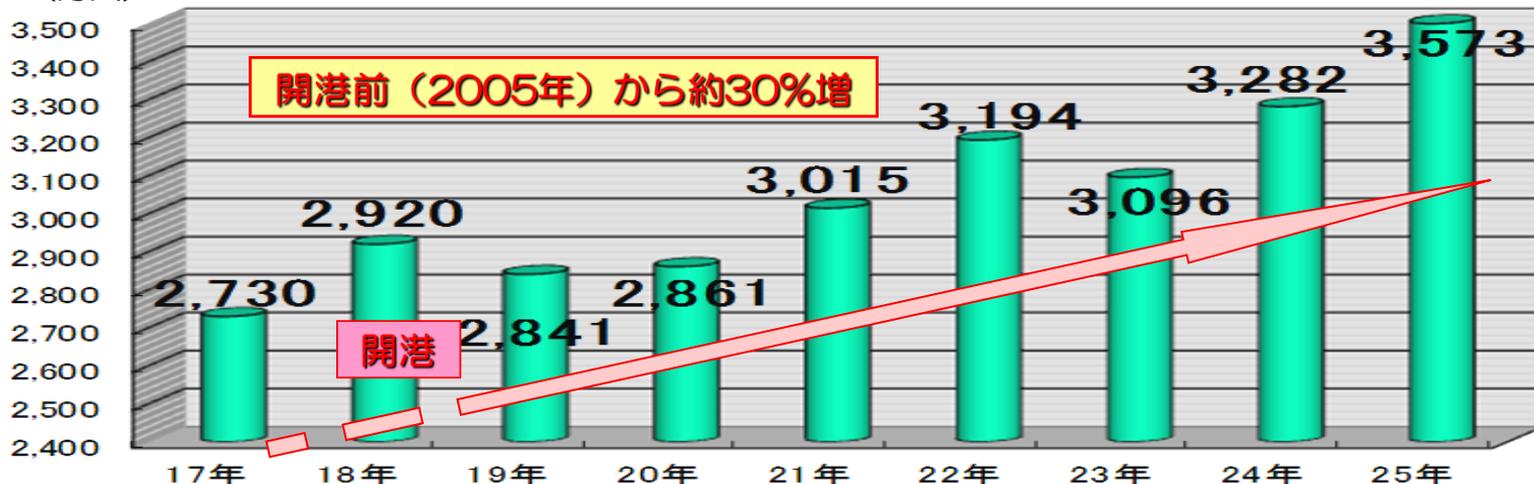
ラヴィマーナ神戸
・人工海浜に面した立地環境を活かし、リゾート地をイメージしたウェディング施設



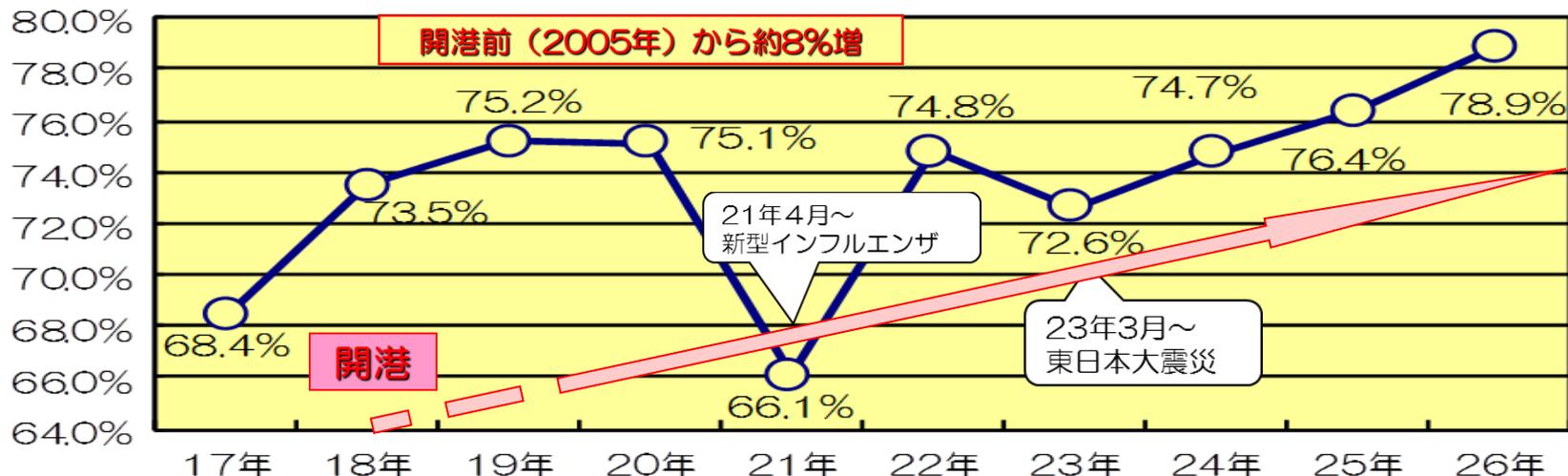
人工海浜からの眺め

観光入込客数の増加・ホテル稼働率

神戸市の観光入込客数
(万人)



市内ホテルの稼働率



◎災害派遣医療チーム（通称：DMAT）の受入訓練

• 平成23年10月 神戸市総合防災訓練



ヘリコプターで被災者（患者）を搬送



神戸市総合防災訓練の実働訓練として、広域医療搬送に重点を置いた実践的な訓練を実施

• 平成24年10月 近畿府県総合防災訓練



大型輸送機やヘリコプターで被災者（患者）を搬送



近畿2府7県による合同防災訓練の一環として、広域医療搬送及び物資搬送等の訓練を実施

“空の防災拠点”としての神戸空港

阪神・淡路大震災を経験した神戸市

⇒防災訓練、災害救援活動、救援物資の輸送、災害医療派遣チームの搬送など、神戸空港を防災拠点として最大限に活用

◎東日本大震災（平成23年3月11日発生）の初動要員をヘリで現地派遣



発生の翌日（平成23年3月12日）に、神戸空港から先遣隊をヘリコプターで仙台へ直ちに派遣

“観光スポット”としての神戸空港

明石海峡大橋に沈む夕日



ターミナルビル4階の展望レストランや
展望デッキからは絶景夜景を堪能



1000万ドルの夜景を見ながらの食事



神戸-関空ベイ・シャトル

西緑地・環境に配慮
した人工海浜



階段式の親水空間